

校長だより(令和3年4月)

◇着任のごあいさつ

群馬県立藤岡特別支援学校長 須川 史子

この度、吉井前校長先生の後任としてまいりました須川でございます。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に特段のご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます

さて、桜にかわり周囲の木々の浅緑が少しずつ鮮やかになる中、令和3年度がスタートしました。4月7日(水)に始業式および小中学部入学式、8日(木)に高等部の入学式が行われ、全校児童生徒73名(小学部24名、中学部20名、高等部29名)が揃いました。始業式には在校生が久しぶりの登校でしたが、元気な顔を見せてくれました。そして、新しいクラスで、新しい先生や仲間との生活が始まりました。新入生(小学部3名、中学部11名、高等部11名、計25名)にとっては、新しい学びの場に慣れるには、しばらく時間が必要だと思われます。しかし、皆さんが新しい環境に早く慣れて、在校生と仲良く楽しく一緒に充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

始業式では、在校生に対して、①「元気にあいさつできる人になりましょう。」、②「思いやりの気持ちを持って周りの人に接しましょう。」、③「自分の目標を持ちましょう。」という3つのお願いを伝えました。子どもたちの頑張りに期待するとともに、本校としても、子どもたちの内に秘められた可能性や力をさらに引き出し伸ばせるよう、ご家庭とも密接に連携させていただきながら指導していきたいと考えています。

なお、令和2年度末の人事異動により、3名が退職、7名が転出となりました。また、転入等で新たに8名の職員を迎えました。今年度も引き続き大変お世話になります。どうぞよろしく願いいたします。

今年度の教育目標、目指す学校像は下記のとおりです。今年度も教職員が一丸となり、本校の児童生徒のために、そして保護者の皆様や地域の方々のご期待に応えるべく、一層努力してまいりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1 教育目標

- (1) 児童生徒の個性や能力・特性を生かして、基礎的・基本的な学ぶ力を育成する。
- (2) 基本的な生活習慣を確立し、健康で心豊かな児童生徒を育成する。
- (3) 日常生活や社会生活に必要な知識・技能を養い、社会の一員として生きる力を育成する。
- (4) 多くの人たちとの交流を通し、人と共に積極的に活動できる社会性を育成する。
- (5) 社会自立に向け自己達成感や自己有用感を養い、自信と意欲を持つ児童生徒を育成する。



2 目指す学校像 ~児童生徒が未来に向かい、明るく心豊かに生きるための力を育む学校~

- (1) 児童生徒が安全に安心して生活できる学校
- (2) 児童生徒の教育的ニーズを教育活動に反映させ、個に応じた指導を実践する学校
- (3) 地域の教育資源を生かし、児童生徒の社会自立を目指した教育活動や交流活動を展開する学校
- (4) 地域のセンター的機能を担い、関係機関と連携し発達障害への対応を実践・発信する学校
- (5) 学校運営・学習指導・地域支援に組織的に取り組み、地域・保護者から信頼される学校